

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和6年11月1日(2024.11.1)

【国際公開番号】WO2022/092284

【出願番号】特願2022-559273(P2022-559273)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/64(2006.01)

A 6 1 K 8/60(2006.01)

A 6 1 Q 5/00(2006.01)

A 6 1 Q 17/00(2006.01)

A 6 1 Q 19/00(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 K 8/64

A 6 1 K 8/60

A 6 1 Q 5/00

A 6 1 Q 17/00

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年10月23日(2024.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

炭素原子数10乃至24の脂肪族基からなる脂質部に、少なくとも2つ以上の同一の又は異なるアミノ酸の繰り返しにより形成されたペプチド部が結合された脂質ペプチド型化合物と、シヨ糖エステルを含有する組成物。

30

【請求項2】

皮膚又は毛髪の上に被膜を形成することができる、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

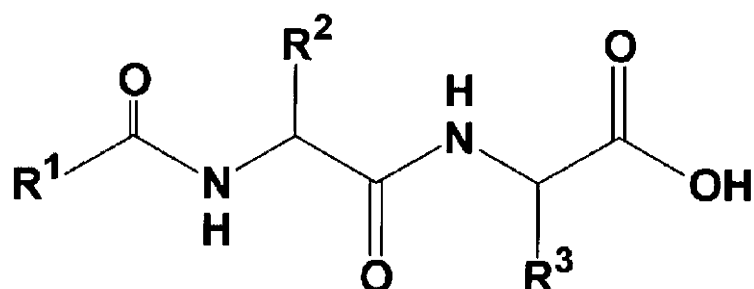
塵埃、花粉、粒子状物質、ダニ(死骸を含む)、ガス状物質、又は臭気物質の、皮膚又は毛髪の上への付着を防止する、請求項1または請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

前記脂質ペプチド型化合物が、下記式(1)乃至式(3)で表される化合物又はその薬学的に使用可能な塩のうち少なくとも一種からなることを特徴とする、請求項1乃至請求項3のうち何れか一項に記載の組成物。

40

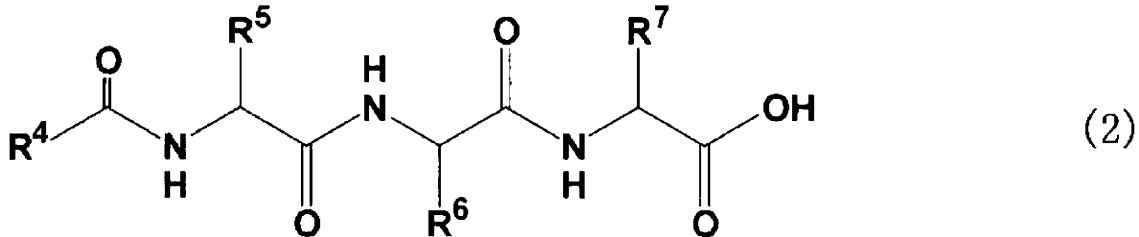
【化1】



50

(式中、 $R^1$  は炭素原子数 9 乃至 23 の脂肪族基を表し、 $R^2$  は水素原子、又は炭素原子数 1 若しくは 2 の分枝鎖を有し得る炭素原子数 1 乃至 4 のアルキル基を表し、 $R^3$  は  $-(CH_2)_n-X$  基を表し、 $n$  は 1 乃至 4 の数を表し、 $X$  はアミノ基、グアニジノ基、 $-CONH_2$  基、又は窒素原子を 1 乃至 3 個有し得る 5 員環基若しくは 6 員環基又は 5 員環と 6 員環から構成される縮合複素環基を表す。)

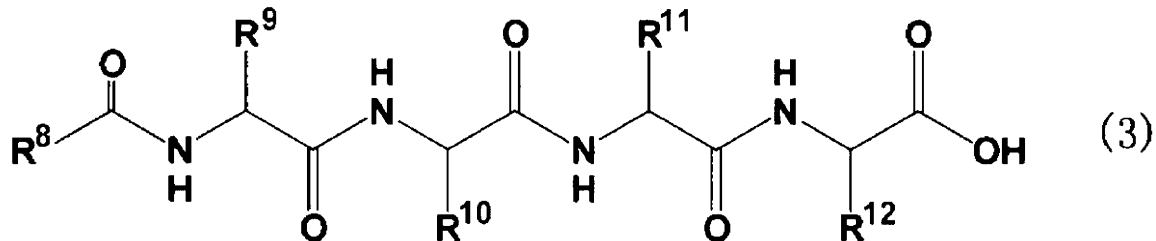
【化 2】



10

(式中、 $R^4$  は炭素原子数 9 乃至 23 の脂肪族基を表し、 $R^5$  乃至  $R^7$  はそれぞれ独立して水素原子、炭素原子数 1 若しくは 2 の分枝鎖を有し得る炭素原子数 1 乃至 4 のアルキル基、又は  $-(CH_2)_n-X$  基を表し、 $n$  は 1 乃至 4 の数を表し、 $X$  はアミノ基、グアニジノ基、 $-CONH_2$  基、又は窒素原子を 1 乃至 3 個有し得る 5 員環基若しくは 6 員環基又は 5 員環と 6 員環から構成される縮合複素環基を表す。)

【化 3】



20

(式中、 $R^8$  は炭素原子数 9 乃至 23 の脂肪族基を表し、 $R^9$  乃至  $R^{12}$  はそれぞれ独立して水素原子、炭素原子数 1 若しくは 2 の分枝鎖を有し得る炭素原子数 1 乃至 4 のアルキル基、又は  $-(CH_2)_n-X$  基を表し、 $n$  は 1 乃至 4 の数を表し、 $X$  はアミノ基、グアニジノ基、 $-CONH_2$  基、又は窒素原子を 1 乃至 3 個有し得る 5 員環基若しくは 6 員環基又は 5 員環と 6 員環から構成される縮合複素環基を表す。)

30

【請求項 5】

前記ショ糖エステルが、ショ糖ラウリン酸エステル、ショ糖ミリスチン酸エステル、ショ糖パルミチン酸エステル及びショ糖ステアリン酸エステルからなる群より選ばれる少なくとも 1 種である、請求項 1 乃至請求項 4 のうち何れが一項に記載の組成物。

【請求項 6】

炭素原子数 10 乃至 24 の脂肪族基からなる脂質部に、少なくとも 2 つ以上の同一の又は異なるアミノ酸の繰り返しにより形成されたペプチド部が結合された脂質ペプチド型化合物とショ糖エステルを含有する組成物からなる膜を皮膚表面又は毛髪表面に形成する膜形成工程を含む、皮膚表面又は毛髪表面の汚染を防止する方法。

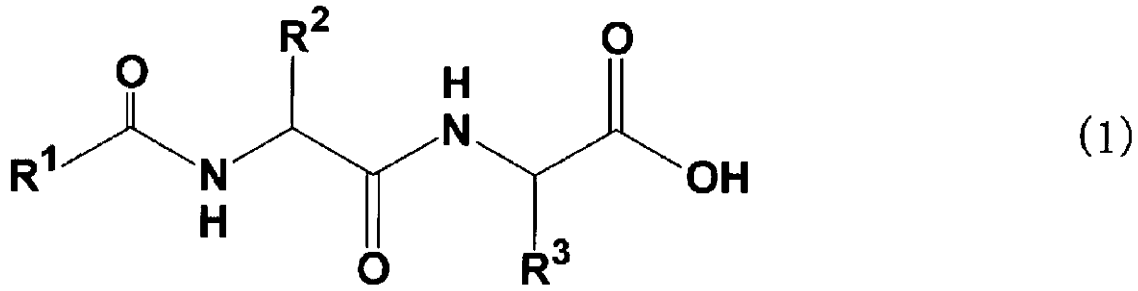
40

【請求項 7】

前記脂質ペプチド型化合物が、下記式 (1) 乃至式 (3) で表される化合物又はその薬学的に使用可能な塩のうちの少なくとも一種からなることを特徴とする、請求項 6 に記載の方法。

50

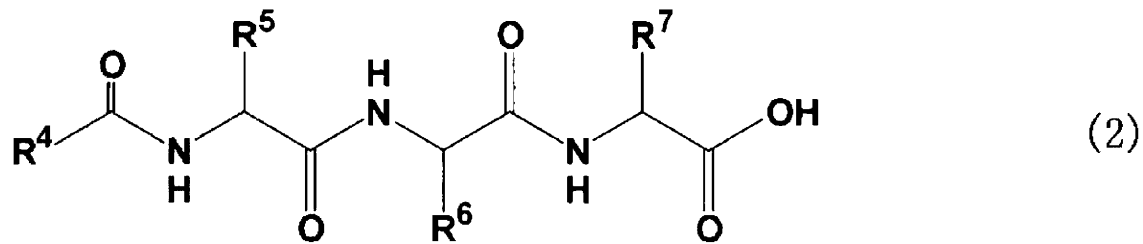
## 【化 4】



10

(式中、 $R^1$ は炭素原子数9乃至23の脂肪族基を表し、 $R^2$ は水素原子、又は炭素原子数1若しくは2の分枝鎖を有し得る炭素原子数1乃至4のアルキル基を表し、 $R^3$ は $-(\text{CH}_2)_n-X$ 基を表し、 $n$ は1乃至4の数を表し、 $X$ はアミノ基、グアニジノ基、 $-\text{CONH}_2$ 基、又は窒素原子を1乃至3個有し得る5員環基若しくは6員環基又は5員環と6員環から構成される縮合複素環基を表す。)

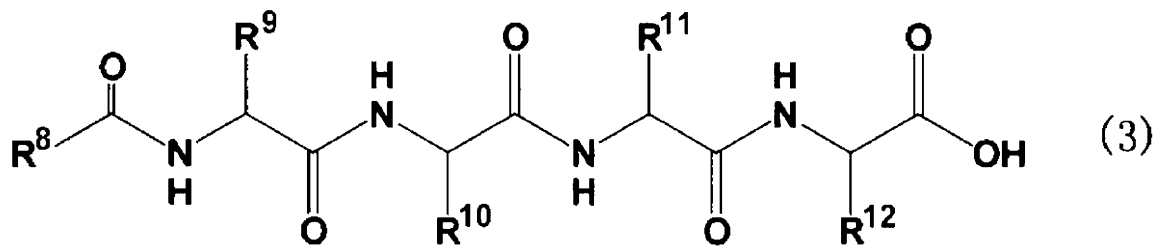
## 【化 5】



20

(式中、 $R^4$ は炭素原子数9乃至23の脂肪族基を表し、 $R^5$ 乃至 $R^7$ はそれぞれ独立して水素原子、炭素原子数1若しくは2の分枝鎖を有し得る炭素原子数1乃至4のアルキル基、又は $-(\text{CH}_2)_n-X$ 基を表し、 $n$ は1乃至4の数を表し、 $X$ はアミノ基、グアニジノ基、 $-\text{CONH}_2$ 基、又は窒素原子を1乃至3個有し得る5員環基若しくは6員環基又は5員環と6員環から構成される縮合複素環基を表す。)

## 【化 6】



30

(式中、 $R^8$ は炭素原子数9乃至23の脂肪族基を表し、 $R^9$ 乃至 $R^{12}$ はそれぞれ独立して水素原子、炭素原子数1若しくは2の分枝鎖を有し得る炭素原子数1乃至4のアルキル基、又は $-(\text{CH}_2)_n-X$ 基を表し、 $n$ は1乃至4の数を表し、 $X$ はアミノ基、グアニジノ基、 $-\text{CONH}_2$ 基、又は窒素原子を1乃至3個有し得る5員環基若しくは6員環基又は5員環と6員環から構成される縮合複素環基を表す。)

40

## 【請求項 8】

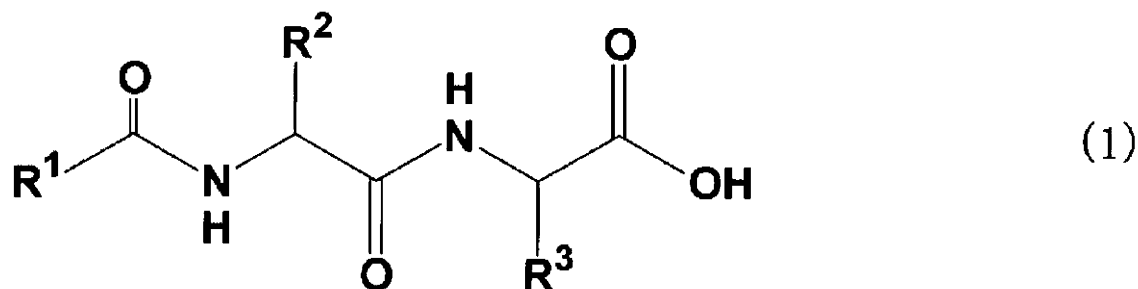
炭素原子数10乃至24の脂肪族基からなる脂質部に、少なくとも2つ以上の同一の又は異なるアミノ酸の繰り返しにより形成されたペプチド部が結合された脂質ペプチド型化合物とシヨ糖エステルを含有する組成物からなる膜を皮膚表面又は毛髪表面に形成する膜形成工程を含む、皮膚表面又は毛髪表面への塵埃、花粉、粒子状物質、ダニ(死骸を含む)、ガス状物質、又は臭気物質の付着を防止する方法。

## 【請求項 9】

50

前記脂質ペプチド型化合物が、下記式(1)乃至式(3)で表される化合物又はその薬学的に使用可能な塩のうちの少なくとも一種からなることを特徴とする、請求項8に記載の方法。

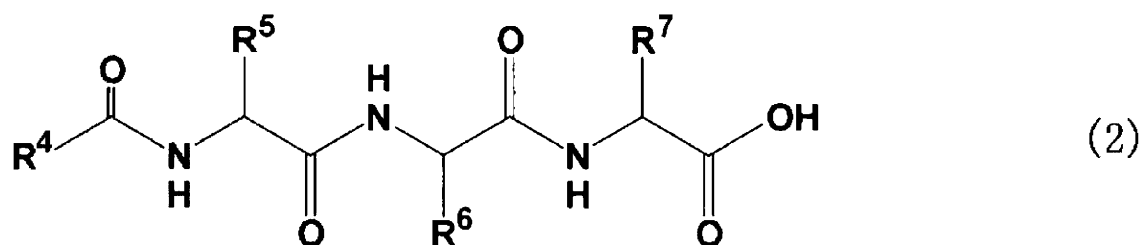
【化7】



10

(式中、 $R^1$ は炭素原子数9乃至23の脂肪族基を表し、 $R^2$ は水素原子、又は炭素原子数1若しくは2の分枝鎖を有し得る炭素原子数1乃至4のアルキル基を表し、 $R^3$ は $-(CH_2)_n-X$ 基を表し、 $n$ は1乃至4の数を表し、 $X$ はアミノ基、グアニジノ基、 $-CONH_2$ 基、又は窒素原子を1乃至3個有し得る5員環基若しくは6員環基又は5員環と6員環から構成される縮合複素環基を表す。)

【化8】

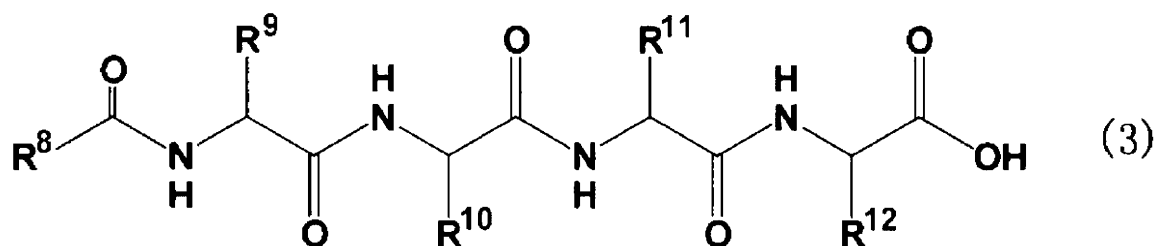


20

(式中、 $R^4$ は炭素原子数9乃至23の脂肪族基を表し、 $R^5$ 乃至 $R^7$ はそれぞれ独立して水素原子、炭素原子数1若しくは2の分枝鎖を有し得る炭素原子数1乃至4のアルキル基、又は $-(CH_2)_n-X$ 基を表し、 $n$ は1乃至4の数を表し、 $X$ はアミノ基、グアニジノ基、 $-CONH_2$ 基、又は窒素原子を1乃至3個有し得る5員環基若しくは6員環基又は5員環と6員環から構成される縮合複素環基を表す。)

30

【化9】



40

(式中、 $R^8$ は炭素原子数9乃至23の脂肪族基を表し、 $R^9$ 乃至 $R^{12}$ はそれぞれ独立して水素原子、炭素原子数1若しくは2の分枝鎖を有し得る炭素原子数1乃至4のアルキル基、又は $-(CH_2)_n-X$ 基を表し、 $n$ は1乃至4の数を表し、 $X$ はアミノ基、グアニジノ基、 $-CONH_2$ 基、又は窒素原子を1乃至3個有し得る5員環基若しくは6員環基又は5員環と6員環から構成される縮合複素環基を表す。)

【請求項10】

炭素原子数10乃至24の脂肪族基からなる脂質部に、少なくとも2つ以上の同一の又は異なるアミノ酸の繰り返しにより形成されたペプチド部が結合された脂質ペプチド型化合物とショ糖エステルを含有する、皮膚浸透促進用組成物。

50

## 【請求項 1 1】

炭素原子数 10 乃至 24 の脂肪族基からなる脂質部に、少なくとも 2 つ以上の同一の又は異なるアミノ酸の繰り返しにより形成されたペプチド部が結合された脂質ペプチド型化合物とシヨ糖エステルを含有する組成物からなる膜を皮膚表面又は毛髪表面に形成する膜形成工程を含む、皮膚浸透を促進する方法。

## 【請求項 1 2】

前記被膜の表面に粗さを有し、平均表面粗さが 3 nm 乃至 500 nm である請求項 2 に記載の組成物。

10

20

30

40

50